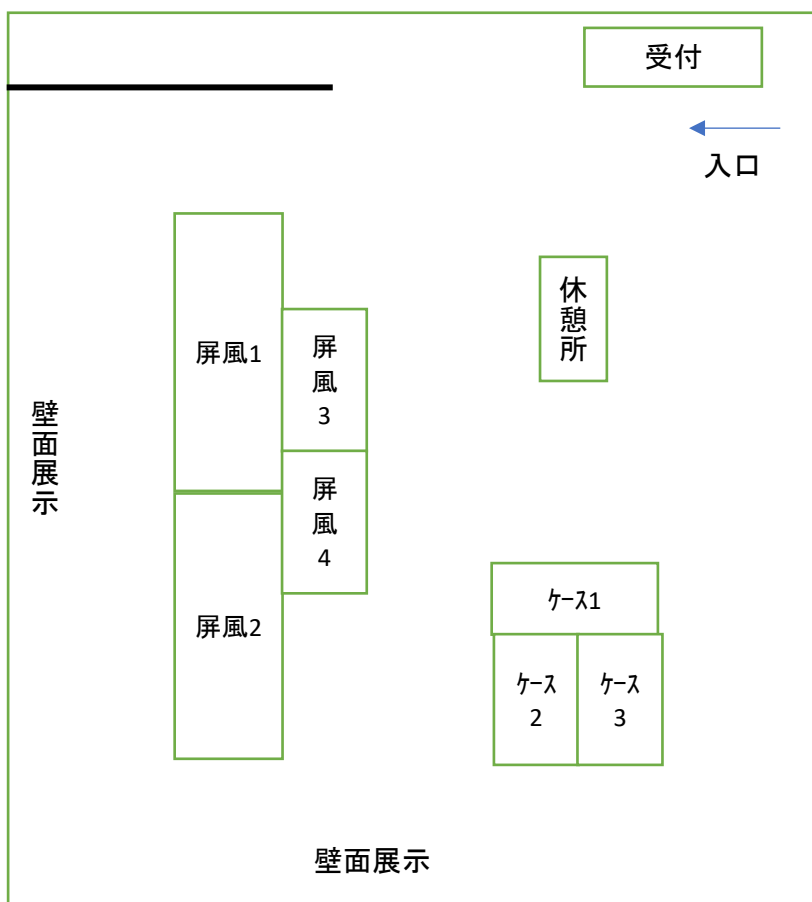


第33回 近代文学館企画展

「近世から近代へ」

令和4年3月5日(土)～6日(日) 於高山市図書館「煥章館」

[会場レイアウト]



主催 一般社団法人 高山市文化協会 共催 高山市

作者	種類	内容	展示
花陰会	写真	「花蔭会」句会150回記念句碑建立記念	壁面
近世(天領時代)		高山陣屋代官・郡代	
第12代郡代 大原 彦四郎	俳句	朧夜の星は寿々みて田にしかな	壁面
第13代郡代 大原 亀五郎	詩書	諸賢蕭寺下追憾恨無窮身没千秋後名 存四海中年華流水疾春暮落花空今日…	壁面
第21代郡代 小野 朝右衛門	詠詩	<small>せたにあみをさらすとうさんのつきいっしょくのこうてんりょうけいひかる</small> 勢田曝網東山月一色紅天両景光	壁面
第24代郡代 高柳 小三郎	歌	机 文机に夜昼もなくむかえども つむ甲斐なきは月日なりけり	壁面
		陣屋役人	
森 江鷺(可参)	消息 俳句	松の葉に包ム手向や春嵐	壁面
飯山 治右エ門 (千山)	書	「金精」「玉英」	屏風3
〃	書	「満月」	壁面
津野 滄洲	絵歌 笹魚	ささ魚の夢はさめたり初あらし	壁面
井田 至芳	絵 俳句	さひくさにかさなりて寝る■沙ゝなど	壁面
館 柳湾	漢詩	野路停鞭処西山暗暮霞鐘声煙 外寺燈火樹間家行役難云苦詩情…	壁面
〃	歌	薰風拂野争看射柳之弓	壁面
上木 清成	巻物	義父還曆賀屏餘帳 全5卷	ケース1
桐山 力所(楽只)	絵賛 鯉図	鯉鱗三十六一ゝ雄未成淵底 保坤色■時養元精何当…	壁面
南裔 楚雄	詩	青 山飛瀑色白日走江聲	壁面
		文学者	
野口 兔来	俳句	人を見ぬ人の往来やけふの月	壁面
野口 午有	俳句	行秋や乳房はなるゝ種瓢	ケース2
平田 長等	俳書	冬や春障子ひらけて の内	壁面

作者	種類	内容	展示
加藤 歩簫 [雲橋社]	俳句	竹の子や明日は売られていくようす	壁面
赤田 臥牛 [静修館]	詩書	紫門寂掩扇 月黒梅花白 中為読書軒 不知是何客	
田中 大秀	歌	海上 こぬ人をまつらの澳のほととぎす 郭公 もろこしかけて鳴りわたるなむ	壁面
加藤 歩簫	俳句	冬山や誰忘たる鈍てはこ	
大森 旭亭	画賛	臥牛・大秀讚	壁面
	群鶴図	君が代のちとせの加寿にかぞえをり…	
田中 大秀 [千種園]	歌	浅水橋 降りし雨は夜間に晴れつ浅水の 橋もとどろに啼く子規	壁面
〃	歌	大秀翁四季詠・春夏秋冬(長歌・反歌・短歌)	屏風2
三島 勘左衛門	詩書 短冊	奉賀 身脩家■無心 異■即■春又新 一門為同奉萬寿 鳳其千歳侶尊親	壁面
二木 長嘯	詩画 笹魚	■葉陰崖谷 自然鱗■生 他時君試賦 掉尾有中引	壁面
白雲居 相常 蒲 八十村	歌	(右隻) ■■記草の力もあらわれて しおれぬ竹の春の色かな 他5首	屏風1
〃	歌	(左隻) 音の葉が目にもさやかにみゆるまで あきたきなびく風のたかむら 他5首	屏風1
加藤 素毛	俳句	如月に蚊飛散る島て旅寝かな	壁
廣瀬 重武	俳句	肌寒き旅寝のどこや遠擣衣	壁面

近代(明治・大正・昭和前期)

高山県知事他

梅村 速水	歌	山里に新にさける菊の花深き いろかはけふよりぞ知る	壁面
梅村 速水	書簡	消息	壁面
吉田 文助	詩書	新竹高於屋 相以補旧林 幽人添一適 朝花開鳴禽	壁面
宮原 積	歌	水花 水の花のくもの中道いつしかと 散りやかになりて目は積けり	壁面
宮原 積	歌	ゆうがらすおくれて返る一声を やみに残して月はい出にけり	壁面

作者	種類	内容	展示
宮原 積	歌	たれ 誰かぬ麗し一むら雨のあとならむ いり日露けきゆふがほのはな	壁面
文学者			
永田 吉右衛門	文台	[花陰会]文台	ケース2
河東 碧梧桐	俳句	父は梅売りを早や三人迄呼び	壁面
河東 碧梧桐	俳句	荷馬車に溜り藪傾くに蝶の空 他3句	屏風4
河東 碧梧桐	俳句	袖落とす竿にて尖れ里	ケース3
塩谷 鵝平	俳句	もの詣で渡舟の小岸氷つた	ケース3
塩谷 鵝平	俳句	いね刈いとしのとうがらし蜻蛉よ	壁面
塩谷 鵝平	俳句	蟻の列にぎやかにもなり	壁面
瀧井 孝作	俳句	我が家に来るもの椋の葉あびたり	ケース3
瀧井 孝作	俳句	わひすけよわか窓へりの西王母 初めての女を描くよ西王母	壁面
瀧井 孝作	俳句	皿の中ちさい心の苺かな	壁面
柚原 畦菫	俳句	折柴兄に 遇ふ冬は旃檀の實を味はん	ケース3
岩谷 山梔子	俳句	自笑 隻聲に魂をのゝくや安居僧	ケース3
岩谷 山梔子	俳句	布団干す宿の温室に茂る艸	ケース3
小鳥 良々	俳句	人の顔に似た秋の犬に津かるる	ケース3
江黒 木鳥	俳句	春宵の木屑こまやか女面彫る	ケース2
江黒 亀千	俳句	花の宴幕様々の紋ところ	ケース2
五松庵 蝶夢	冊子	花蔭会時雨会 句集	ケース3
水音社	写真	「水音社」前身「淳風会」の人々 大正10年	ケース2